

〔専門医による講話〕

- 1 テーマ「マイノリティ～みんなちがってみんないい～」
- 2 対象 1、2年次
- 3 専門医 井上 聡子 医師
(さとこ女性クリニック)
- 4 実施月 9月
- 5 内容(キーワード)
LGBTQ、子宮頸がんワクチン
命の大切さ等マイノリティ全般について



評価(あてはまるものに○をつけ、理由を記入)

①健康課題の解決について

- 有効だった
有効でなかった

<その理由>

*情報が氾濫していることで不安に思っていたことについて正しい性の知識を得ることができた。多様性についても考えることができた。

②校内の組織づくりについて

- 有効だった
有効でなかった

<その理由>

*マイノリティについて教員側も重要な課題だと再認識できたことで、チーム力の向上につながった。

③校外の関係機関等との連携について(派遣専門医を含む)

- 有効だった
有効でなかった

<その理由>

*産婦人科や泌尿器科とはどういうものか、どんな治療をするのかなど丁寧に教えていただき不安を解消できた。医師になりたいという生徒への展望になった。

〔受講者の感想など〕

○貴重な講話ありがとうございました。人は誰でもマイノリティであるというお話にととても納得しました。日本の教育の問題点が浮き彫りになった今、私たちは正しい教育を受けいれているのだろうか不安になりました。正しい知識を身につけ、大人に成長していきたいと思いました。

○大変志が高い医師だと思ったしそのような方が社会を変えてゆくのだと思った。自分もそのような医師になりたい。

〔教科やその他の指導との関連性〕

保健体育科や家庭科、社会科、生物など同様の単元での授業と重なっていて振り返りなど実施できた。医師をめざした話があって、本校生の卒業後の進路を考える上でキャリア教育の一助となった。

